

第2章 保存修理事業の内容

第1節 事業に至る経緯

昭和55年（1980）に重要文化財に指定された後は、数年おきに維持修理や小規模な工事が行われてきた（表2-1-1）。同年には、防災設備工事として、建物内に自動火災報知設備を設置し、建物周辺に防火水槽と屋外消火栓を設置した。同57年には、国庫補助事業として保存修理工事を行い、外部塗装の全面塗替えと内部1階の部分修理が行われた。同59年には再び国庫補助事業で保存修理工事を行い、屋根の部分葺替えと内部2階の部分修理が行われた。翌年には、建物内に展示用の照明設備や放送設備を新設するなど、博物館施設として活用するに必要な設備が整備された。

その後、町の単費で平成元年（1989）に外部塗装の全面塗替えと屋根野地を中心とした部分修理、同10年に雨水樹の改修工事、同15年に屋根全面葺替えと外部塗装全面塗替え、外壁を中心とした部分修理が行われた。

ところで、昭和58年4月より内部の一般公開が行われ、不特定多数が利用していたが、これまでに耐震診断は実施されておらず、建物の耐震性能を把握できていなかった。このため、耐震基礎診断を実施する必要があると判断し、平成26年10月より「重要文化財旧三笠ホテル耐震診断事業」に着手した。同事業では、構造性能に関わる

破損調査、診断に必要なデータを得るために実測調査、赤外線カメラによる壁内の柱や筋違いの調査^(註1)を行い、構造軸組図を作成した。また、建物の周辺にて地盤調査^(註2)を行い、支持層の確認を行った。これらの調査結果を基に、文化庁担当官の指導を受けて耐震基礎診断を行った結果、耐力が不足し耐震補強が必要であることが判明した。そのため、建物の文化財的価値に配慮し、複数の補強案を策定し^(註3)、同事業は平成28年3月に完了した。

一方で、建物各所で経年による劣化が目立ち、現状把握と修理計画が望まれた。平成29年に町の単費で、破損調査と修理計画策定業務（修理基本設計）を委託し、翌年には修理計画を立案した。こうして、耐震補強を含めた保存修理工事の着手に向け、基本設計を取りまとめて準備を整え、令和元年度より保存修理事業に着手した。なお、図2-1-1にあるように、保存修理事業の実施中に、活用環境強化事業や防災施設等整備事業を着手した。

註

1. 壁面の表面温度を測定して、壁内部の構造材の有無を確認した。保存修理工事の解体によって判明した柱や筋違いの位置とほとんど一致していた。
2. 機械ボーリング、標準貫入試験、PS検層、常時微動測定（以上各1箇所）、ハンドオーガーボーリング8箇所を行った。

年 度	平成26 年度	平成27年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7 年度
事業	種別	10 1	4 7								
耐震 事業	診断委託										
町單 事業	修理基本 設計委託										
保存 修理工 事業	設計監理 委託										
	請負工事										
	保存活用 計画委託										
活用 環境 強化 事業	活用シテ ン委託										
	設計監理 委託										
	請負工事										
防災 整備 事業	設計監理 委託										
	請負工事										
町單 事業 防災 活用	基本設計 委託										
	設計監理 委託										
	請負工事										
施設休館											

図2-1-1 保存修理事業と連携事業の全体工程表

3. 耐震診断事業では、本体の補強案として3案、煉瓦積み煙突の補強案として2案を策定し、保存修理計画に合わせて最適

な補強案を決定することとした。基本設計、実施設計で詳細を検討し、補強方法を決定した。

表2-1-1 昭和後期以降の主な修理履歴

西暦	和暦	工事概要	補助	主な工事内容ほか	出典・引用ほか
1970	昭和45	塗装及び屋根部分修理	自費	屋根の修理と外壁の塗装塗替え	『軽井沢の近代建築』5頁
1974	昭和49	移築（曳家）	自費 (日本 長期信 用銀 行)	解体工事：付属棟撤去、外部避難梯子撤去、1階床・1階腰壁（下見板、漆喰壁）・石積み基礎解体 基礎工事：床下ベタ基礎設置、石積み基礎積直し 木工事：1階床組・床板復旧（上張り板張替え） 屋根工事：スレート葺替え（人工スレート葺） 左官工事：1階腰壁プラスター塗 建具工事：引違窓・両開き扉一部新規作製 塗装工事：外部塗直し その他：窓の網戸撤去、外部避難はしご撤去	工事写真
1980	昭和55	自動火災報知設備設置	町単	防災設備工事：火災非常通報機、直結付加装置設置、受信機、総合盤、煙感知器設置	工事請負契約書
		防火水槽・消火栓新設	町単	防災設備工事：敷地西側防火水槽設置（20m ³ ）、屋外消火栓設置（2箇所）	工事請負契約書
1982	昭和57	塗装及び部分修理 (外部及び内部1階)	国・県	木工事：外壁部分補修、1階縁甲板一部張替え 左官工事：1階内部漆喰塗直し 建具工事：建具新規補足、建具部分補修 塗装工事：外部全面塗直し、1階内部塗直し 設備工事：照明器具補修・補足、1階自火報設備更新 雑工事：1階リノリウム張替え、ロビー絨毯取替え、1階カーテン取替え（既製品）、軒樋・堅樋取替え、誘導灯設置	補助金実績報告書 総事業費：22,920千円
1983	昭和58	雪止め設置工事	町単	北・東側屋根面の雪止め設置	重要文化財修理の届出書
1984	昭和59	部分修理（屋根部分葺替、内部2階）	国・県	屋根工事：人工スレート部分補修、棟鉄板包み直し 左官工事：2階内部漆喰塗直し 建具工事：建具新規補足、建具部分補修、建具金具補足 塗装工事：2階内部塗直し 設備工事：照明器具補修・補足、2階自火報設備更新 雑工事：2階リノリウム張替え、2階カーテン取替え（既製品）、煙突屋根木部補修・鉄板包み、天井格縫補修	補助金実績報告書 総事業費：37,000千円
		照明器具更新	町単	設備工事：照明器具更新（南側附室パイプペンダント6台、便所コードペンダント4台）	備品購入契約書
1985	昭和60	活用整備（照明・放送設備ほか）	町単	その他：照明設備新設（展示用）、放送設備新設、西側副階段リノリウム保護用ビニールマット敷	工事請負契約書
1989	平成元	塗装及び部分修理（外部塗装、屋根・木部の部分修理）	町単	木工事：屋根野地、煙突下地、北側庇ほか 屋根工事：人工スレート部分補修（北・東面） 塗装工事：外部塗直し 雑工事：電灯配線更新、避雷針BOX更新	重要文化財修理の届出書 工事請負契約書
1998	平成10	雨水枠改修	町単	雑工事：雨水枠改修（堅樋下部19箇所に敷設）	工事請負契約書
2003	平成15	屋根葺替・塗装及び部分修理	町単	木工事：外壁、軸部、小屋・屋根下地部分補修 屋根工事：人工スレート葺替え、棟鉄板包み直し 建具工事：木部補修、ガラス取替え、金具取替え 塗装工事：外部塗直し 雑工事：リノリウム・塩ビシート張替え	工事請負契約書
2014	平成26	耐震診断事業着手	国・県	耐震診断（調査含む）及び耐震補強案の検討 事業期間：平成26年10月から平成28年3月	補助金実績報告書 総事業費：14,965,560円
2017	平成29	破損調査・修理計画策定	町単	破損調査及び保存修理計画立案 委託期間：平成29年10月から平成31年3月	業務委託契約書
2019	令和元	保存修理事業着手	国・県	事業期間：令和元年6月から令和7年3月	
2020	令和2	活用環境強化事業着手 (保存活用計画策定)	国・県	「旧三笠ホテル保存活用計画」策定 事業期間：令和2年6月から令和4年3月	補助金実績報告書 総事業費：6,970,700円
2022	令和4	活用環境強化事業着手 防災施設整備事業着手	国・県	事業期間：令和4年6月から令和7年7月	

第2節 事業の経過

運営と着手

本事業は軽井沢町の直轄事業とし、文化庁文化資源活用課、長野県教育委員会事務局文化財・生涯学習課^(註1)の指導のもとに文化財保護法、補助金等に係わる予算の執行の適正化に関する法律及び同法施行令、文化庁文化財補助金交付規則その他関係法規に準拠して行った。事業の運営は主管を軽井沢町教育委員会生涯学習課文化振興係とし、軽井沢町地域整備課計画設計係が工事の事務等を補佐した。

保存修理事業は国庫・長野県の補助金を受け、総事業費885,000,000円、工事期間を55箇月、事業期間を58箇月として、平成31年（2019）4月に補助金交付申請書を文化庁に提出し、同6月3日から事業に着手した。

設計監理

工事の設計監理は、公益財団法人文化財建造物保存技術協会に委託し、第1期工事分は令和元年7月、第2期工事分は令和3年10月にそれぞれ委託契約を結んだ。同協会は文化庁から承認を得た主任技術者を現地へ駐在させた。駐在期間は、関係者との協議により、令和2年2月から工事完了までとした。業務委託契約仕様書に基づき、事業運営に関する打合せ、各種調査、実施設計、施工監理、各種申請事務協力、図面作製、写真撮影、修理工事報告書編集及び印刷等を行った。

施工

工事の施工はすべて請負工事とし、第1期工事は素屋根などの仮設の設置と解体工事、第2期工事は仮設の撤去と組立工事、耐震補強工事を発注した。入札は、事後審査型制限付一般競争入札とし、結果は、いずれも清水建設株式会社が落札し、工事請負契約を締結した。

・第1期工事（令和2年1月10日請負契約^(註2)）

工事名：令和元年度 国補 重要文化財旧三笠ホテル建造物保存修理工事（第1期）

施工期間：令和2年1月10日～令和4年3月25日

・第2期工事（令和4年3月16日請負契約^(註3)）

工事名：令和3年度 国補 重要文化財・旧三笠ホテル建造物保存修理工事（第2期分）

施工期間：令和4年3月16日～令和7年3月25日

事業経過

・令和元年度（平成31年度、2019年度）

31年4月15日 交付申請書提出 保存・活用事業費
総事業費 885,000,000円

元年6月3日 交付決定通知 元文府第217号

元年12月23日 計画変更申請書提出

総事業費 変更なし

実施設計に基づく工事内容の見直し

変更承認通知 元受文府第12号の464

実績報告書提出

額の確定通知 長教達元教文第1-4号

・令和2年度（2020年度）

交付申請書提出 保存・活用事業費

交付決定通知 元文府第2042号

計画変更申請書提出

総事業費 901,070,000円

実施による工事の追加による増

変更承認通知 2受文府第12号の513

明許縛越依頼書提出

年度事業費210,330,000円のうち

26,902,150円を12箇月明許縛越

計画変更申請書提出

総事業費 変更なし

実施による工事内容の見直し

変更承認通知 3受文府第12号の98

実績報告書提出

額の確定通知 長教達4教文第64号

・令和3年度（2021年度）

交付申請書提出 保存・活用事業費

交付決定通知 2文府第2181号

計画変更申請書提出

総事業費 911,970,000円

実施による工事内容の変更による増

変更承認通知 3文府第920号

現状変更等許可申請書提出

現状変更許可通知 3受文府第2591号

計画変更等申請書提出

総事業費 1,228,750,000円

現状変更に伴う工事の追加による増

工事期間令和6年12月31日まで延長

事業期間令和7年3月31日まで延長

変更承認通知 3受文府第12号の448

実績報告書提出

額の確定通知 長教達4教文第63号

・令和4年度（2022年度）

交付申請書提出 保存・活用事業費

交付決定通知 3文府第2706号

計画変更申請書提出

総事業費 1,223,850,000円

設備工事の一部他事業へ移行による減

変更承認通知 4受文府第12号の256

5年3月31日	実績報告書提出
5年4月12日	額の確定通知 長教達5教文第23号
・令和5年度(2023年度)	
5年1月30日	交付申請書提出 保存・活用事業費
5年4月1日	交付決定通知 4文庁第5404号
5年7月7日	計画変更申請書提出 総事業費 1,284,000,000円 スライド条項適用による増
5年9月1日	変更承認通知 5文庁第2371号
5年11月21日	計画変更申請書提出 総事業費 1,289,860,000円 中央車寄の復原設計の見直しによる増
6年2月1日	変更承認通知 5文庁第4552号
6年4月10日	実績報告書提出
6年4月12日	額の確定通知 長知達6文振第69号
・令和6年度(2024年度)	
6年1月26日	交付申請書提出 保存・活用事業費 総事業費 1,313,050,000円 内部漆喰壁の補強の追加による増
6年4月1日	交付決定通知 5文庁第5845号
6年7月4日	計画変更申請書提出 総事業費 1,313,630,000円 工期を3箇月延長
6年9月2日	変更承認通知 6文庁第2544号
6年11月13日	計画変更申請書提出 総事業費 1,315,130,000円 実施による工事内容の見直しによる増
7年2月3日	変更承認通知 6文庁4588号
7年2月7日	計画変更申請書提出(繰越) 年度事業費366,720,150円のうち 23,075,800円を3箇月明許繰越
7年3月24日	変更承認通知 6文庁第6266号
7年5月20日	計画変更申請書提出 工期を3箇月延長
7年6月10日	変更承認通知 7受文庁第12号の37

工事経過

第1期工事は、令和2年(2020)1月10日より着手した。令和元年度は、敷地周囲に仮囲い、西側の出入口にパネルゲートとシートゲートを設置した。場内の仮設通路となる範囲には、碎石敷のうえ鉄板敷を行った。また、仮設物の設置に支障となる樹木の移植、伐採、枝払いを行い、石積みが乱れていた建物背面の石階段の解体を行った。

令和2年度は、正面及び背面の庇の解体と、建物周囲の埋設配線を撤去した後、建物を覆う素屋根を建設した。

素屋根内に軒足場など必要な仮設足場を設置し、場内に解体材保存兼古材工作小屋を設置した。

解体工事は、屋根、野地を順次すべて解体し、小屋組は破損個所及び耐震補強工事の支障となる範囲を解体した。外部は、外壁や軒廻りの破損個所を解体し、これに伴って必要な外部の漆喰壁や水切板金を解体した。

内部は、まずリノリウムやカーテン、電気設備、衛生設備、建具を取り外して保存小屋に格納した。その後、内部漆喰壁と、床板、天井板の解体に着手し、便所や浴室の破損したタイルも解体した。

令和3年度は、外部塗装の既存塗膜剥離に本格的に着手し、煙突煉瓦の破損個所の解体、外部からの漏水により破損していた柱や胴差など軸部の解体を行った。

内部では、アスベストが含有していることが判明した後補の1階腰壁をボード下地まで解体した。軸部解体に支障となる漆喰壁は木摺まで解体し、そのほかの漆喰壁は、健全な層を残して解体した。また、前年度に引き続き、耐震補強工事に支障となる1、2階の床・天井を解体した。このほか、暖炉前面の破損したタイルの解体、破損している建具ガラスの取外し、建具と解体した内部の部材の既存塗膜剥離を行った。必要な解体工事を終えて、令和4年3月25日に第1期工事が完了した。第2期工事は、令和4年3月16日より着手し、年度内に嵌窓の木部補修を行った。

令和4年度は、本格的に組立工事と耐震補強工事に着手した。木工事は、補足木材を納入し、古材の補修や新材の加工を行い、軸部、外壁、小屋組の順に復旧を進めた。外壁の復旧に合わせて、窓台や胴蛇腹などの水切板金の補修と復旧を行った。内部では、天井吊木の復旧と新設を行い、壁木摺下地の復旧に着手した。

耐震補強工事は、まず煙突補強として、煙突煉瓦の垂直コアと小屋内の水平コア削孔後、ステンレス筋を挿入しグラウトを注入した。鉄骨フレーム補強に先行して、補強柱の近傍には転倒防止のため、地盤を掘削してPC鋼線とグラウトを注入し、地盤アンカーを設置した。基礎コンクリート設置後、クレーンで補強鉄骨を吊り込んで、建物内の2箇所に鉄骨フレームを設置し、既存軸部と緊結した。また、外周の基礎布石積補強のため、床下に鉄筋コンクリートの裏打ちを新設した。小屋組の復旧後、小屋内の水平プレース補強に着手した。

左官工事は、解体した煙突煉瓦の一部積直しと表面のモルタル塗を行い、塗装工事は建具の油性調合ペイント塗に着手した。建具工事は、残りの建具の木部補修とガラスの取替え・ガラスパテ復旧を行ったほか、建具金具を補修・補足した。雜工事は、床下換気口グリルの補

修・補足と、床下の防蟻土壌処理などを行った。

令和5年度は、引き続き組立工事と残りの耐震補強工事を行った。木工事は、屋根野地の復旧、内部の床や天井、造作の復旧を行ったほか、中央車寄の補足木材を納入し、加工を行った。屋根工事は、本屋の天然スレート葺、塔屋の屋根鉄板葺を行い、雨樋を復旧した。塗装工事は外部の木部、鉄部、モルタル・漆喰部と建具の各塗装を行い、内部では既存塗膜のケレン後、油性調合ペイントの塗直しを行った。左官工事は、外部小壁の漆喰塗直しと内部の木摺復旧を行い、内部では塗装の仕上げが完了した部分から漆喰壁の下塗に着手した。建具工事は、外部建具の建付調整と取付けを行い、設備工事は、1、2階天井内の電灯設備配線の敷設と屋根の避雷設備を復旧し、照明器具の補修に着手した。雑工事は、胴蛇腹の換気口金網や小屋内で補強鉄骨の断熱材を取付けた。

耐震補強工事は、前年度に引き続き、小屋組内の水平プレース補強を行い、内部の床板復旧後、1階天井内の水平プレース補強と煙突補強を行った。外部の屋根・塗装・左官・建具工事の完了を待って、ステージ足場、外部養生足場、軒足場、素屋根の順に仮設物の撤去を行った。仮設物の撤去後、東外部では、現状変更により石階段を撤去して、耐震補強の杭工事を行った。

令和6年度は、内部は引き続き、左官工事の内部壁漆喰塗、塗装工事の油性調合ペイント塗を行った。このほか、左官工事は、暖炉煉瓦の補修とタイルの復旧、木工事は、残りの天井の復旧とロビー腰壁の堅子の復原、建具工事は、内部建具を復旧した。設備工事は、残りの照明器具の補修を行い、補修したものに落下防止ワイヤーを取付けて元の位置に復旧した。内部漆喰塗の完了を待って、ワニス塗とオイルステイン塗、リノリウム敷、カーテン取付けなどを行った。

外部では、耐震補強工事で新築棟の渡り廊下の柱・梁を兼ねた鉄骨フレーム補強を設置した。木工事は、場外で中央車寄の加工が完了した木材を含侵強化処理し、東翼車寄の補足木材の加工を行った。含侵強化処理の乾燥期間を経て、中央と東翼車寄の基礎、軸部、小屋組、屋根の順で組立てた。中央車寄はアクリル樹脂系非水分散形塗料塗で、東翼車寄は油性調合ペイント塗とオイルステイン塗で仕上げた。そのほか、建物外周の布石積の擬石補修や目地補修を行い、北側の石階段の復旧や補修を行い、建物周囲に雨落排水溝を整備した。

最後に仮囲いやゲートなど仮設物を撤去し、令和7年3月25日に全工事が完了し、軽井沢町に引き渡された。

文化庁現地指導

工事中、指導が必要な時に係官派遣申請書を提出し、

文化庁の担当官より計10回の現地指導を受けた（担当官はいずれも西岡聰主任調査官）。

第1回 令和2年6月25日

工事進捗確認と計画変更に関する指導

第2回 令和3年3月23日

工事進捗確認と計画変更、耐震補強案に関する指導

第3回 令和3年7月27、28日

工事進捗確認と現状変更に関する指導

第4回 令和3年9月3日

現状変更と耐震補強案に関する指導

第5回 令和4年6月1日

工事進捗確認と計画変更に関する指導

第6回 令和4年10月25日

工事進捗確認と塗装の仕様に関する指導

第7回 令和5年3月17日

工事進捗確認と計画変更（スライド条項適用）に関する指導

第8回 令和5年9月29日

工事進捗確認と車寄実施仕様に関する指導

第9回 令和6年6月28日

工事進捗確認と計画変更に関する指導

第10回 令和7年3月4日

竣工前の確認

現場見学会

工事期間中、一般市民を対象に計5回の現場見学会を開催した^(註4)。軽井沢町が主催し、設計監理者、施工者が協賛した。町報などにより周知し、毎回50～60名の来場があり、ヘルメットを着用して現場内を見学した。

事業完了

工事完了後に事業の内容、工事の内容、調査結果等を記載した修理工事報告書を300部刊行した。全事業は令和7年9月30日に完了し^(註5)、最後の実績報告書を長野県へ提出した。

註

1. 令和6年度より長野県県民文化部文化振興課が担当。
2. 変更請負契約を令和3年3月17日に行い、同3年8月31日までの工期を同4年3月25日までに変更した。また、令和3年9月16日、同4年2月3日、同4年3月9日に変更請負契約を行い、最終（第4回変更）の契約金額は、284,130,000円であった。
3. 変更請負契約を令和5年3月22日、同5年9月21日、同6年2月8日、同6年6月20日、同6年10月4日、同7年2月6日に行い、第5回変更では、令和6年12月25日までの工期を同7年3月25日までに変更し、最終（第6回変更）の契約金

額は837,298,000円であった。

4. 令和2年8月29日、同2年11月3日、同4年6月18日、同5

年10月21日、同6年8月24日に開催した。

5. 明許縛りにより、全事業は令和7年9月30日に完了した。

事業期間：令和元年6月3日～令和7年9月30日(76ヶ月)

工事期間：令和2年1月10日～令和7年3月25日(63ヶ月)

■ 第1期工事(令和2年1月10日～令和4年3月25日)

■ 第2期工事(令和4年3月16日～令和7年3月25日)

区分	期間	令和元年度												令和2年度												令和3年度													
		6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月				
保存修理事業 請負工事	委託 設計監理業務	第1期工事設計																																					第2期工事設計
	直接仮設工事																																						
	解体工事																																						
	建具工事																																						
	塗装工事																																						
	設備工事																																						
	雑工事																																						
	共通仮設工事																																						

区分	期間	令和4年度												令和5年度												令和6年度													
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
保存修理事業 請負工事	委託 設計監理業務	第2期工事監理																																					
	修理工事 報告書																																						
	直接仮設工事																																						
	煙突足場																																						
	基礎工事																																						
	木工事																																						
	屋根工事																																						
	左官工事																																						
	建具工事																																						
	塗装工事																																						
	耐震補強工事																																						
	設備工事																																						
	雑工事																																						
	共通仮設工事																																						

※毎年7月25日～8月31日は「軽井沢町の自然保護対策要綱」に基づき、静穏の保持や渋滞抑制のため、夏期工事自粛期間になる

図 2-2-1 保存修理事業の実施工程表

第3節 事業関係者

軽井沢町（事業者）

町長	土屋三千夫	文化振興課（令和5年度まで教育委員会管轄）
同前任	藤巻 進	課長 水上 俊治
副町長	上原 章生	文化財係長 三木 陽平
同上	小林 信嗣	文化専門員 石丸 敦史
同前任	小池 秀一	同前任 馬場伸一郎
同前任	柳澤 宏	同前任 市川 格
教育委員会		同前任 市川 厚
教育長	宮本 隆	設計監理
同前任	荻原 碩也	公益財団法人 文化財建造物保存技術協会
生涯学習課		(東京都荒川区西日暮里)
課長	市村 和則	理事長 高塙 至
同前任	岩井 和成	工事監督 片桐 京司
同前任	向井 武志	工事主任 濑尾 雅之
文化振興係長	土屋 忠夫	技術職員 高田 涼華
同前任	市村 傑	構造担当 鈴木 律
同前任	島田 尚美	同前任 星野 真志
主任	林 美冴	同前任 大槻 俊明
同前任	上原 梓	活用担当 高野 菜美
同前任	上原 茂人	同前任 斎賀英二郎
同前任	浅野 昌昭	事務員 塚本 千枝
主査	跡部 凜花	同前任 渡辺 由美
学芸員	佐藤 幸信	【耐震補強設計監理協力】
地域整備課		(有)江尻建築構造設計事務所（東京都新宿区高田馬場）
課長	荒井 美和	代表取締役 江尻 憲泰
同前任	土屋 貢	構造担当 藤田 実
同前任	浅賀 信雄	同前任 佐藤 拓真
計画設計係長	内堀 和也	【設備設計監理協力】
同前任	柳澤 貴幸	(株)森村設計（東京都港区白金台）
同前任	渡辺 智雄	代表取締役 森村 潔
主任（前任）	山田 武広	電気設備担当 山口 真史
主査	篠原 哲也	同上 小林 惟子
同前任	佐野孝太郎	機械設備担当 阿部 公香
文化庁		同上 細川 雅之
文化資源活用課震災対策部門		同上 源馬 健史
文化財調査官	西岡 聰	工事請負（第1期工事、第2期工事）
文化資源活用課整備活用部門（建造物）		清水建設㈱
文化財調査官	井川 博文	東京支店長野営業所（長野県長野市）
同前任	五島 昌也	代表取締役社長 新村 達也
長野県		同前任 井上 和幸
知事	阿部 守一	東京支店長 清水康次郎
教育長	内堀 繁利	同前任 新村 達也
		長野営業所長 山鹿 武
		同前任 岸本 秀晴
		同前任 前田 春紀

工事長	杉山 和弥	施工団担当	神田 研一
同前任	服部 真司	同上	篁 亮
現場代理人	石川 秀幸	同上	中田 有美
設備担当	大貫翔太郎	現場事務	堀内 紗菜
営業担当	福岡 佳典	同前任	土屋絵利可
現場係員	渡邊 威人	東京支店社寺住宅部（東京都中央区）	
同前任	齋藤 海	部 長	渡邊 和夫
活用・防災工事担当	清水 俊行	同前任	金高 正典
同上	高橋 直也	工事長	金久保 仁
同上	石上 友哉	同上	藤澤 雅人

協力業者 仮設・解体工事（◎代表取締役・代表）

仮設工事 土工事	仮設工事 素屋根基礎工事
第一建設株（北佐久郡軽井沢町）	(有)S.A.T（長野県松本市）
◎関口 和生、金井 一男、木下 公司、佐々木和秀 二川目智昭、藤巻 正勝	◎櫻井 貞義、櫻井 利充、中村 正樹
デザイン工業有（群馬県甘楽郡下仁田町）	株K2.splendor（長野県松本市）
◎武藤 正、東間 和男、武藤 宏之、武藤 将大 軽井沢産業株（北佐久郡軽井沢町）	◎鴨志田和久、青木 賢一、稻川 堅斗
◎土屋 義明、土屋 浩司、速水 哲雄、土屋 治夫 株しげた（北佐久郡軽井沢町）	株トクシユ（長野県東御市）
◎小倉 博、小林 彰彦、水口 明路、水口 大	◎白川 典佳、池田 和博、柳沢 健二、内山 裕二 関森 孝志
仮設工事 墨出し	株明徳（長野県小諸市）
株G-yours（長野県上田市）	◎篠原 文彦、大槻 敏幸、小山 一人、滝沢 久 荒西 君信、荻原 正嗣、千田 司、菊原 康宏
◎荻原 清美、藤極龍太郎	株KOUSHIN輝伸（長野県小諸市）
仮設工事 仮設足場	◎依田 勉、依田 勝、五加 秀誓
株恵仮設（長野県東御市）	鉄筋屋（長野県小諸市）
◎高寺 泰貴、矢島 純、高嶋 忠、松井 誠悟 佐塚 誠也、高橋 元貴、中島 隆雅、菊池 永夢 芝間 侑志、浦原 韶希、竹中 陽菜、春原 輝 グエン・ティン・ルアン、グエン・ヴァン・トゥエン カオ・ヴァン・トゥ、ファン・ヴァン・フー チャン・ヴァン・ヒュー	◎小林 哲彦、阿部 剛、森泉 徹
◎清水板金（北佐久郡軽井沢町）	(有)タダチ（長野県松本市）
◎清水 勝二、土屋 哲司、柳澤三智哉	◎松橋 通人、荻原 昭二、安西 蘭丸、篠原 賢司 中山 陽介、三村 勝喜
仮設工事 素屋根架設工事	（有）竹城工業（長野県佐久市）
深田鉄工有（兵庫県神戸市東灘区）	◎竹城 清、竹城 幸成、尾美 哲也、高塚 利美
◎深田 晃弘、中村 奉之、中村 雄貴、岡寄 和好 中川 哲矢	仮設工事 素屋根 橋設置工事
株石原組（静岡県沼津市）	(有)清水板金（北佐久郡軽井沢町）
◎石原 貴志、川村 一紀	◎清水 勝二、土屋 哲司、柳澤三智哉
株鳶石井組（静岡県沼津市）	仮設工事 クレーン工事
◎石井 善太、石井 元喜、伊藤 徹也、角屋 遼修 長野 友哉、樋口 海星	(有)ツチヤクレーン（長野県東御市）
株鳶要（千葉県八千代市）	◎土屋 英夫、土屋 憲市、土屋 陽市、土屋 愛花
◎阿藤 要介、ティン・コ・リン、テッゾー・アウン 石橋 修、井原 康介	解体工事 木部解体
	日本木工株（千葉県君津市）
	◎染谷 武將、小山 晃平
	舟木工匠（富山県射水市）
	◎舟木 聰史、田村 航平、平田 成幸、宮腰 勇次 森 健人、田中 優、山室 拡士

解体工事 石階・石積み解体	塗装工事 既存塗装剥離
(株)上條石材工業（長野県松本市）	(株)小川原塗装店（長野県松本市）
◎上條 尚英、中山 雄作	◎小川原 淨、伊藤 成克、丸山 雅夫
(株)巴組（北佐久郡軽井沢町）	(株)エコロ建装（北佐久郡軽井沢町）
◎巴 康将、岩井 信夫	◎広重 泰紀、佐々木明利、篠原 正人、丸山誠一郎 永田 健一、宮下 豊実、ウイライラット、タナワット
解体工事 板金解体	建具工事 建具取外し
(株)小野工業所（東京都墨田区）	栄建具工芸（長野県長野市）
◎小野 友子、上石 正治、山口 竜、中澤 良和 石原 駿多	◎横田 栄一、横田 徹、藏満 雅志、小嶋 康平
解体工事 スレート解体	建具工事 建具ガラス取外し
(有)熊谷産業（宮城県石巻市）	(株)エー・ジー・クルー（東京都板橋区）
◎熊谷 秋雄、金澤 翔太、高橋 五郎、本地 一夫 高村 隆徳	◎西方真理子、辻井 亮、多田不二夫、八田 大輔 小野 洋次、日吉 一宏、大風 真
解体工事 内装敷物解体	(有)富田ガラス（東京都練馬区）
(有)T・K・S（長野県上田市）	◎富田 洋、富田 洋一
◎菊池昭二郎、宮澤 貴幸、清水 雄一、滝沢 勝吾 保屋野優人	設備工事 電気設備撤去
解体工事 漆喰・モルタル解体	(株)トキワ防災電設（北佐久郡軽井沢町）
(株)あじま左官工芸（東京都葛飾区）	◎常田 雅久、常田 和秀、常田 美雪、笠原 恵 山口 真規、下川 紫乃
◎阿嶋 一浩、小玉 真、長谷 清高、岡崎 灌涵 濱田 雄太、榎本 瑞衣、松田 美月、宮地 健 目崎 隆央、富岡 紀子、清水 久美、伊良波朝賞 山口 由香、中村 雄治	設備工事 衛生設備撤去
解体工事 煙突煉瓦解体	真斗創建（北佐久郡軽井沢町）
(有)越石商会（長野県長野市）	◎木内 和彦
◎越石 明彦、佐野 孝光、岡田 真一、横田 丈司	雑工事 内装工事 カーテン撤去
解体工事 床タイル解体	(株)岩野商会 佐久支店（長野県佐久市）
(株)シンケン（長野県松本市）	◎岩野 彰、柳沢 修 チームNA（群馬県高崎市）
◎市川 興一、又川 喜義、又川 慎一、西澤 佳寿 坂爪 洸太、白井 恒男、白井 隼	◎中沢 充孝
解体工事 アスベスト除去	共通工事 樹木伐採・移植
(有)T・K・S（長野県上田市）	佐久グリーン（長野県佐久市）
◎菊池昭二郎、宮澤 貴幸、滝沢 勝吾、曾根原 誠 山口 隆大、勝見 信行、永井 慎也、小林 仁	◎伴野 輝男、伴野 恵一、浅川 浩、伴野 道彦 荻原 聰希、佐藤 文二
共通工事 解体材保管庫設置・撤去	共通工事 誘導警備
日建リース工業(株) 長野支店（長野県安曇野市）	長野県パトロール(株)（長野県小諸市）
◎関山 正勝、臼井 章浩	◎竹花 長雅、飛田和健二、田中 聰史、芹川 壮史 石井 敏雄、上原 賢治、濱田 恒雄、荻原 聰希 佐藤 文二

協力業者 組立工事（◎代表取締役・代表 ※支店とある場合は支店長）

基礎工事 基礎石強化・撥水処理	基礎工事 基礎石補修、石階段補修・復旧、車寄基礎
(株)パーフェクト・ウォッシュ（神奈川県横浜市）	(株)上條石材工業（長野県松本市）
◎吉川 友博	◎上條 尚英、中山 雄作
基礎工事 土間モルタル塗ほか	岡村石工 ◎岡村 謙二
田中左官店（長野県小諸市）	清水石装 ◎清水 幸夫
◎田中 雄樹、山本 透	斎藤石材 ◎斎藤 敦、小林 義武

基礎工事	雨落排水設備	左官工事	壁漆喰塗、煙突煉瓦面モルタル塗
高橋建材(株) (群馬県藤岡市)		(株)あじま左官工芸 (東京都葛飾区)	
◎高橋 謙司、池田 敏秋、中澤 秀輔		◎阿嶋 一浩、小玉 真、長谷 清高、奥村 達也	
小坂建設(株) (群馬県沼田市)		平賀左官 ◎平賀 晃司	
◎小坂 哲平、嶋田 博昭、デアブ・マカラー ファム・タイソン		小沼工業 ◎小沼 充	
大銑産業(株) (東京都中央区)		大和左官 ◎塩谷 洋晴	
◎福田 昌隆、宮崎 泰輔		大畠 春樹、小林 玲、宮崎 学	
木工事	木部組立	左官工事	タイル張り復旧
日本木工(株) (千葉県君津市)		(株)シンケン (長野県松本市)	
◎染谷 武将、砂田 泰輔、小山 晃平、柳原 進 月原 諒哉、小澤 智之、野口 雄太		◎市川 興一、矢沢 和則 福澤 征浩	
舟木工匠 (富山県射水市)		左官工事	タイル製作
◎舟木 聰史、平田 成幸、田村 航平、窪田 宙透 高倉 啓介		(株)LIXIL (東京都品川区)	
福地建築 ◎福地 稔		◎瀬戸 欣哉、小川 哲司、芦沢 忠、片山 雅也	
相模工匠 ◎内田 俊矢		左官工事	煙突煉瓦積直し、暖炉煉瓦・目地補修
社寺建築大熊 ◎杉本 真		(有)越石商会 (長野県長野市)	
山室建築 ◎山室 拡士		◎越石 明彦、佐野 孝光、横田 丈司	
(株)宮城工務店 ◎宮城 司、田中 広大		建具工事	木部補修・取付け
(株)鳥羽瀬社寺建築 ◎鳥羽瀬公二、畠田 壮馬		栄建具工芸 (長野県長野市)	
宮脇工務店 ◎宮脇 将人		◎横田 栄一、横田 徹、藏満 雅志、小嶋 康平	
森建築 ◎森 健人		建具工事	ガラス工事
牧嶋建築 ◎牧嶋 大助		(株)エー・ジー・クルー (東京都板橋区)	
島村建築 ◎島村 広明		◎西方真理子、成田 明子、多田不二夫、辻井 亮	
和ホーム板野工務店 ◎板野 智和		(有)富田ガラス (東京都練馬区)	
木工事	補足木材納入	◎富田 洋、富田 洋一	
(株)いちい (愛知県江南市)		建具工事	鏡前補修・鍵製作
◎為保 隆義		(株)フキ長野 (長野県長野市)	
木工事	木材含侵強化処理	◎渡邊 恒雄	
(株)アクト (東京都北区)		建具工事	建具金具補修・新調
◎原 裕之、高橋 克明		京都社寺鎔漆(株) (京都府宇治市)	
屋根工事	スレート葺	◎治村 嘉史	
日本セラミックス(株) (東京都中央区)		東日本金属(株) (東京都墨田区)	
◎渡邊 君雄、渡辺 成士		◎小林 謙一	
杉田瓦工業 ◎杉田 康徳		塗装工事	木部・鉄鋼面・漆喰面・モルタル面塗装
大久保瓦店 ◎大久保 浩、大久保貴子 山形 剛		(株)小川原塗装店 (長野県松本市)	
屋根工事	鉄板葺、樋工事	◎小川原健太、伊藤 成克、丸山 雅夫	
(株)小野工業所 (東京都墨田区)		鎌崎塗装 (長野県安曇野市)	
◎小野 友子、中澤 良和、上石 正治、山口 竜		◎鎌崎 淳、鎌崎 実路	
晴板金 ◎田中 義晴		(株)エコロ建装 (北佐久郡軽井沢町)	
角田板金工業 ◎角田 正由		◎広重 泰紀、篠原 正人、篠原 浩二、佐々木明利 小出 優歩、渡邊 優花	
三原板金 ◎三原 正彦		耐震工事	水平ブレース補強、構造用合板補強
		日本木工(株) (千葉県君津市)	
		舟木工匠 (富山県射水市) ※木工事 木部組立を参照	

耐震工事 鉄骨製作・建方	設備工事 電気設備工事
(株)高山製作所（長野県松本市）	(株)トキワ防災電設（北佐久郡軽井沢町）
◎高山 佳和、高山 豊正	◎常田 雅久、常田 和秀
(有)岩本興業（長野県松本市）	設備工事 照明器具補修
◎岩本 広志、太田 貴之、山崎 康雄、竹内 健梧 神津 拓也	(株)ジャパンランパス（東京都中央区）
(有)S.A.T（長野県松本市）	◎上野淳一郎
◎鈴木 幹央、甲田 政臣、櫻井 康範、中村 正樹	設備工事 避雷設備
耐震工事 地盤アンカー	東京避雷針工業(株)（東京都中野区）
黒沢建設(株)（東京都新宿区）	◎清水 博、吉賀 透、山口 正博、浅見 厚幸
◎黒沢 亮平、岩村 洋行、大久保晋哉、犀藤 辰也	設備工事 給排水衛生設備
(株)一ノ関工業（東京都江戸川区）	真斗創建（北佐久郡軽井沢町）
◎一ノ関 誠、屋宣 和弘、澤田石 修、秋山 和夫 米岡 章則、ウェイ・ヤンソー	◎木内 和彦
耐震工事 煙突煉瓦削孔	雑工事 リノリウム敷
(株)アクトタイプ（埼玉県川越市）	(株)岩野商会松本支店（長野県松本市）
◎日野 良美、日野 和徳、藤田 英紀、山田 陽一 石田 凌、荒井 春美	◎堀内 実、小林 民樹、松岡 高広、末木 凌
耐震工事 煙突煉瓦グラウト注入	雑工事 リノリウム納入
栃木アンカー工業(株)（栃木県栃木市）	フォルボ・フロアリングB.V.日本支店（東京都品川区）
◎荒金 憲一、辻口 弘和、伊藤 懇悟	◎望月 宣孝、栗田 保臣
(株)ワイテック（栃木県栃木市）	雑工事 リノリウムプリント
◎湯田 洋、君島 敏明	(株)アプトサイン（東京都港区）
Effort plus ◎加藤 利文	◎鈴木 直美、後藤 正博
耐震工事 基礎石アンカー	雑工事 カーテン納入・取付け
(有)竹城工業（長野県佐久市）	(株)龍村美術織物 関東店（東京都中央区）
◎竹城 清、尾美 哲也、笠原 裕、田中 健一	◎大黒 一彦、宮下 怜樹、鈴木 恵一
耐震工事 基礎コンクリート・鉄筋・型枠	雑工事 金物補修・新調
第一建設(株)（北佐久郡軽井沢町）	(株)創建（長野県長野市）
◎関口 和生、関口 吉生	◎白石 郁夫
デザイン工業(有)（群馬県甘楽郡下仁田町）	櫻工業 ◎植田 明男
◎武藤 正、東間 和男、武藤 宏之	雑工事 小屋裏鉄骨断熱
耐震工事 支持杭	関東ロックウール(株)（東京都板橋区）
(株)角藤（長野県長野市）	◎飯嶋 慶太、森田 航
◎大久保公雄、五味沢拓朗、両澤 敦	雑工事 防蟻・土壤処理
旭化成建材(株)（東京都千代田区）	(有)第一環境サービス（長野県上田市）
◎山越 保正、落合 正剛、坂 実紘、今井 真	◎町田 麻男、山下 次、久保田 学
(株)オムテック（東京都豊島区）	雑工事 修理銘板、室名札製作
◎大國 順彦、大塚 栄人、竹中 直人、市川 正美 磯飛 正一、桐生 拓飛	(株)電弘（長野県長野市）
耐震工事 墨出し	◎小坂 穎二、田中 正智
(株)グリッド（長野県松本市）	共通工事 クリーニング
◎林 久志、平林 克朗	(有)クリーンカンパニー（長野県長野市）
	◎山岸 直也、上條 裕一

第4節 事業費

収入額

区分	総額 (円)	令和元年度 (円)	令和2年度 (円)	令和3年度 (円)	令和4年度 (円)	令和5年度 (円)	令和6年度 (円)
軽井沢町負担額	618,116,000	4,776,490	98,856,000	57,223,000	122,276,000	162,625,000	172,359,510
長野県補助額	39,450,000	304,000	6,309,000	3,652,000	7,804,000	10,380,000	11,001,000
国庫補助額	657,564,000	5,079,000	105,165,000	60,875,000	130,080,000	173,005,000	183,360,000
計	1,315,130,000	10,159,490	210,330,000	121,750,000	260,160,000	346,010,000	366,720,510
雑収入額	0	0	0	0	0	0	0
合計	1,315,130,000	10,159,490	210,330,000	121,750,000	260,160,000	346,010,000	366,720,510

支出額

区分	種別	摘要	金額(円)
総事業費			1,315,130,000
主たる事業費			1,314,940,000
修理工事経費			1,121,428,000
本工事費			1,121,428,000
工事請負費		I + II + III + IV + V	1,121,428,000
	I 直接工事費	1 + 2 + 3 + 4 + 5 + 6 + 7 + 8 + 9 + 10 + 11 + 12	751,563,470
	1 直接仮設工事	やりかた、素屋根基礎、素屋根本体、軒足場、ステージ足場、プラケット足場、シート養生足場、屋根面足場、塔屋足場、煙突足場、小屋組足場、庇足場、車寄足場、内部養生、内部足場1～7、倉庫撤去、整理清掃後片付け	205,134,384
	2 解体工事	調査、本屋根スレート葺解体、本屋根鉄板葺解体、塔屋屋根鉄板葺解体、庇屋根鉄板葺解体、本屋根解体、庇根解体、外部板金解体、本屋根下地解体、庇根下地解体、小屋組解体、外部木部解体、内部木部解体、軸部木部解体、石階段解体、石階段天端敷石解体、モルタル土間解体、樋受雨落石解体、外部漆喰壁解体、内部漆喰壁解体、煙突外部モルタル塗解体、煙突煉瓦解体、タイル張り解体、内装敷物解体、床解体、天井解体、アスベスト含有調査	57,551,040
	3 基礎工事	補足石材、基礎石補修、石階段補修・復旧、車寄基礎設置、屋外排水設備整備、雨落ち周囲鋤取り	18,688,200
	4 木工事	補足木材（化粧材、野木材）、補足木材加工（化粧材、野木材）、屋根下地復旧、小屋組復旧、外部木部復旧、軸部木部復旧、内部木部復旧、中央階段手摺補修、防腐・防蟻処理剤塗布、木材含浸強化処理	137,931,504
	5 屋根工事	本屋根スレート葺、本屋根鉄板葺、塔屋屋根鉄板葺、車寄・庇屋根鉄板葺、樋工事	58,962,500
	6 左官工事	壁木摺下地、壁漆喰塗下塗（生漆喰・砂漆喰）・中塗・上塗・上塗直し、外部漆喰壁復旧、漆喰壁補強、煙突煉瓦面モルタル補修、煙突煉瓦積直し、暖炉煉瓦化粧目地補修、暖炉煉瓦補修、タイル張り補修・復旧	59,218,592

区 分	種 別	摘 要	金 額 (円)
	7 建具工事	引違窓補修、上下窓補修、嵌殺し窓補修、扉補修、引き戸補修、ガラス工事、建具金具等補修・新調	31,102,100
	8 塗装工事	木部外部(既存塗膜剥離、塗装面下地調整、油性調合ペイント塗(OP)、オイルステイン塗(OS)、アクリル樹脂系非水分散形塗料塗(NAD))、木部内部(既存塗膜剥離、塗装面下地調整、内部ワニス塗(OC)、油性調合ペイント塗(OP))、建具(既存塗膜剥離、塗装面下地調整、油性調合ペイント塗(OP))、鉄鋼面(既存塗膜剥離、塗装面下地調整、合成樹脂調合ペイント塗(SOP))、モルタル面(既存塗膜剥離、合成樹脂エマルションペイント塗(EP))、漆喰面(合成樹脂エマルションペイント塗(EP))	42,270,110
	9 耐震補強工事	鉄骨フレーム補強1~3、鉄骨フレーム基礎、水平プレース補強、煙突天井裏補強、煙突内部補強、基礎石コンクリート補強、構造用合板補強、車寄基礎コンクリート補強	97,747,700
	10 設備工事	電気設備(幹線設備撤去、電灯・コンセント設備撤去・復旧、照明器具補修、弱電設備撤去・復旧、自動火災報知設備撤去)、避雷設備撤去・復旧、給排水衛生器具撤去・復旧	19,968,590
	11 雑工事	内装工事、板金工事、断熱工事、金物補修・新調、焼印製作、修理銘板、防蟻土壤処理	21,300,750
	12 発生材処分	発生材処分	1,688,000
II	共通仮設費	1 + 2	56,279,943
1	率計算による	率計算による共通仮設費	31,937,863
2	積上げによる 共通仮設費	解体材保存兼古材工作小屋、パネルゲート、シートゲート、仮囲い、仮設通路養生、鉄板敷、保存格納棚、支障樹木伐採等、支障樹木復旧、石垣解体、誘導警備員	24,342,080
III	現場管理費		78,399,277
IV	一般管理費		96,457,310
	設計額合計		982,700,000
	請負額合計	設計額×請負率	980,200,000
V	スライド額	スライド条項適用額	39,280,000
VI	消費税相当額	消費税額及び地方消費税額	101,948,000
設計料及び監理料			193,512,000
委託料			193,512,000
	設計監理費	公益財団法人文化財文化財建造物保存技術協会委託 標準業務費：技術者人件費と本部経費等、事務経費 特別業務費：修理工事報告書印刷・製本費、大型写真撮影費、耐震補強設計監理費、備品費	175,920,000
	消費税相当額	消費税及び地方消費税	17,592,000
その他の経費			190,000
事務経費			190,000
事務費			190,000
旅費			190,000
	特別旅費	文化庁担当官指導旅費	190,000